



海を楽しむ鍋島さん家族

イスに座って海を見る日

11月3日(金)、入野の浜でNPO砂浜美術館主催の「イスに座って海を見る日」が開催されました。同イベントは、来場者が好きなイスを砂浜に持ってきて、イスに座って海を見るというもの。町内外から55組が参加しました。

同館の塩崎草太さんは、「3回目となると、2、3回目の来場で見ながらわかってきている方も来てくれて、定着してきたと感じる。海を見ながらゆっくりして、風景を見ながらいろいろなことを考える機会になれば」と話しました。

また、町内から参加した鍋島謙太さんは、「告知放送を聞き、今年初めて家族3人で来た。思った

より暑いけど、気持ち良い。普段はあまり海に來ないけど、久しぶりに來たら良いなと思う。癒された」と話しました。

第29回潮風のキルト展

11月17日(金)～19日(日)、入野松原で潮風のキルト展が開催されました。

今年も「布を楽しむ」をテーマに小キルト、大キルト、クツションの3部門へ計106点の作品が町内外から集まりました。審査員には、手芸男子ユニットとして活動する2名を中心に集まったPatchworkLifeを迎え、今年の入賞作品を選びました。

また、生活介護事業所みなどがわと四万十市のわかふじ寮の利用者が、アートチームのしこくゲージュツ遍路座とともに作成した、大きなクジラを模した「まんまくじら」も展示されました。

来場した小南江里子さんと浜田和美さんは、「知人の作品を見て、毎年來ている。色使いや模様など、アイデアがすごく感動した。出



作品を見る来場者

店もあって、のんびりして、いて良い雰囲気、毎年楽しみに來ている。來年もまた來たい」と話しました。

「ヒューマン・ライツカフェ」開催

10月28日(土)、ネスト・ウエストガーデン土佐で、(株)わらびの・畠中智子さんの進行で、黒潮町人権教育・啓発ワークショップ「ヒューマン・ライツカフェ」～一人ひとりの大切な思い、みんなで語ってつながろう～が開催され、19名が参加しました。

同ワークショップは、誰もの人権が尊重される明るいまちづくりを進めていくために行われ、他己紹介やロールプレイング・ダイベイトを行いました。



ワークショップの様子

参加者らは、「自分の考えと真逆の立場の役になりきることで、ほかの考えを持つ立場への理解が深まった」などと話しました。

子どもの命を守り生きる力を育む黒潮町民会議

子どもを取り巻くあらゆる事象から子どもの命を守り、子どもの成長に地域総がかりで関わり、ふるさと貢献意識を育てることを目的に10月12日(木)、「子どもの命を守り生きる力を育む黒潮町民会議」がふるさと総合センターで開催されました。

実践報告では、南郷小学校5年生の大島あかりさんより「#7119を広めよう大作戦!」と題した報告があり、また、生重幸恵さんより「生きる力を育むために、今私たち大人にできることは」と題した講演が行われ、主体的な学びの促進や地域が関わることによる多様な体験の場づくり、地域と学校の連携・協働による教育の必要性などについて語っていただきました。



大島さん(左)と生重さん(右)

参加者は、「これから先の町や自分たちの在り方、子どもたちへの関わり方を改めて考える機会となった。つながりを作りたい」と話しました。